

ウォーターフロント 再開発事業

民間事業者の儲けを優先した 過剰整備やめよ!

2月15日に神戸市会本会議がひらかれました。日本共産党神戸市会議員団の松本のり子議員が議案質疑に登壇しました。

質疑項目

1. ウォーターフロント再開発事業の新港第2突堤の整備について
2. 三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合について

2025年4月、新港第2突堤にアリーナが建設されるにあたり、神戸市がこのアリーナ部分の土地を24億6000万円で国から買取り、1㎡あたりわずか月700円で神戸市がアリーナ業者に貸付けます。さらに今回計上された8億9000万円で神戸市がアリーナ部分以外（斜線部分）の緑地整備

をし、その後30年間の緑地管理は賑わい施設やイベント会場などの施設を配置した民間事業者がおこないます。松本議員は、民間事業者が収益をあげやすい過剰な整備だと指摘し、市民が自由に散策したり、くつろげる場所を十分に確保すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

今西副市長：市民のための十分な空間はある。

松本議員：賑わい施設とイベント会場を運営する会社の収益がなければ緑地整備が不十分になる懸念がある。契約書にはどの程度維持・整備するのかといった記載はあるのか。

今西副市長：30年間の貸付けの収入3.6億円と緑地管理費を業者に支出してもらう。港湾管理者が管理するより高質で良好な状態が維持できる。

松本議員：具体的なことは書かれていないのではないの

か。事業者は「緑地自体が集客装置となり収益につながる」と市民のためではなく好循環で稼ぐという姿勢だ。今後30年間のことはわからない。デメリットの部分も含めて丁寧に契約を交わすべきだ。例えば賑わい施設が繁盛し、事業者がさらに施設を増やしたい場合はどうするのか。

今西副市長：計画を変更するには、神戸市の承認または国の同意が必要だ。

松本議員：承認すれば参入させることができるということだ。今後提案があれば承認するのか。緑地部分は市民が憩える場として十分なスペー

松本議員が 議案質疑

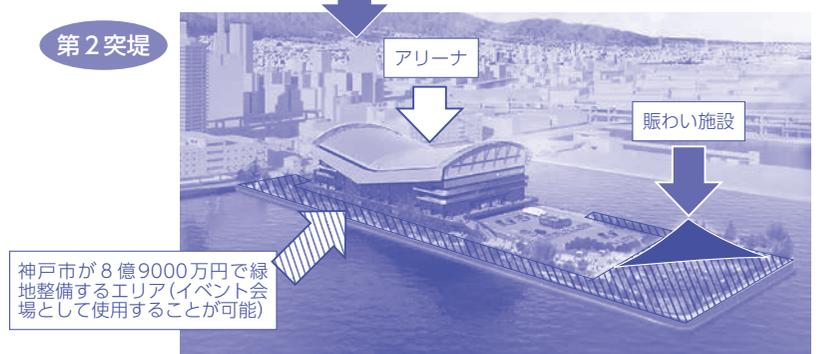
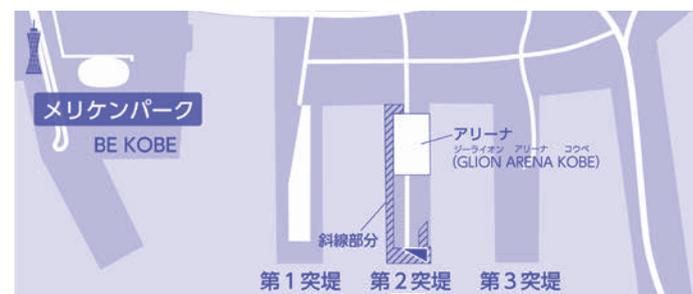


スを維持させるのか。

今西副市長：現時点で増築などは考えていないが、今後の活用は市民からの声を受け、また業者から提案があればその状況に応じて検討したい。

松本議員：港湾会計と国のお金で整備した場所に民間施設がどんどん参入し、市民の皆さんが憩えなくなるのでは

と懸念する。港湾法における緑地は、港湾環境整備施設で労働者や市民のための憩いの場でないといけぬ。また、明治から大正時代につくられた歴史ある新港の岸壁は、神戸の歴史的な街並みが形成された出発点だ。多くの神戸市民が自由に広々とくつろげる場所にすべきだ。



済生会兵庫県病院と 三田市民病院の再編統合やめよ

昨年の5月議会で、済生会兵庫県病院と三田市民病院の再編統合に向けて三田市と協

議を進めることを議決した後、7月の三田市長選挙で、計画の白紙撤回を公約に掲げ

た市長が当選。三田市長の申し入れにより協議が延期となっていました。今回改めて今年度内に基本協定を取り交わすことを定める議案が提案されました。松本議員は、「この間のコロナを通して神戸市の医療体制の脆弱性が明

らかになった。再編統合を進めることで緊急時の現場対応が一層困難になる」と指摘。地域の実情や不安の声を聞かず、再編統合を強行する姿勢は改めるべきと質しました。

神戸空港国際化 整備事業

市民生活顧みず、大企業優先の 巨額費やす整備やめよ

2月21日、神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市会議員団を代表して西ただす議員が反対討論をおこないました。

神戸市は、2030年の神戸空港の「国際化」を目指し、新ターミナル整備計画に283億円もの事業費を投入しようとしています。大阪万博の需要もあてこみ、現在の倍となる旅客数を設定した現実離れした計画です。ところが委員会審査で神戸市は、万博により増える旅客数も答えられず、チャーター便の就航のメドすらあきらかにできませんでした。西議員は、万博そのものに国民が愛想をつかしていると指摘し、大企業・万博を優先し市民の生活を顧みない整

備計画を進めるべきではないと述べました。

また、神戸市が8億9000万円を費やすウォーターフロントの新港第2突堤の緑地整備について、2月15日の議案質疑で今西副市長は、緑地面積1万4000㎡のうち収益施設が900㎡、イベント会場は1600㎡となり「1ha以上の広大な面積が残り、市民のための開放的な空間は十分ある」と答弁。しかし、委員会審査では、今後収益施設を広げようと考えた場合「建ぺい率の上限はない」とし、イベント会

西議員が 反対討論



場の面積は広くなる時もあり、上限も決まっていないことが明らかとなりました。西議員は、「このような統一性のない答弁では、公共性のある緑地整備などできない。神

戸市が巨額の費用を使って整備した上で一事業者に30年もの長期の運用を許し、最大限の便宜を払うものとなる議案には賛成はできない」と表明しました。

*討論の全文は、日本共産党神戸市会議員団のホームページからご覧いただけます。

みなさんの声で神戸市政の根本的な転換を!!



日本共産党市議団が予算懇談会

日本共産党市議団は予算懇談会を開催しました。
60人もの方々が参加し、様々な意見や要望が述べられました。

日本共産党市議団は、今年度予算案で、神戸市は人口減を加速させた大型開発に固執し、三宮再整備に209億円、神戸空港国際化に185億円など開発予算を前年度よりさらに大幅増額し、王子公園や須磨水族園を民間に差し出すと告発。駅周辺は高層マンションなどを集積させ、保育所不足と学校・学童保育の過密化を招く一方、郊外は空き家が増え、スーパーなどの閉鎖が相次ぎ、保育所・幼稚園、小中学校、バス路線など公共基盤を次つぎと廃止・縮小させています。さらに水道料金は12月検針から、市バス運賃は10月から値上げの予定です。市政の歪みの大元には自民党政治とそれに積極的に追随する市長の姿勢があり、転換のカギは市民の運動です。これまでも市民のみなさんと一緒に、学校給食の物価高騰分全額

- 保育士の給与改善で、日本共産党にお礼を言いたい
- ジェンダー平等を進めるため、女性の参加をさらに
- とにかく正規職員をふやしてほしい
- 自衛隊への個人情報提供は、国の戦争する国づくりに追随するもの
- 被爆80年、非核50年の節目の年にふさわしい取り組みを 等々

公費負担、13の市立幼稚園廃園計画の方針策定見送り、保育士の処遇改善など要求を運動で実現してきました。

日本共産党市議団は、今議会論戦でも要求実現に力を尽くし、予算の抜本的組み換えを求めます。

ご視聴ください

西ただす議員が総括質疑

委員会の進行状況によって時間が大きく前後する可能性がありますのでご注意ください。

日時 3月11日(月) 13時50分頃から 場所 市議会本会議場

ご視聴はこちらから

